

建設長崎活動者研修会開催のお知らせ

1. と き：11月17日(火) 午後 6 時30分開会

1. ところ：長崎原爆資料館ホール

1. 講演内容：マイナンバー制度と
リフォーム協会について

建設長崎

10 October
No.604

2015年10月15日

1部20円 組合員の購読料は組合費に含みます

印刷●(株)昭和堂 TEL 095-821-1234

発行●長崎県建設産業労働組合 〒852-8021 長崎市城山町17番58号 TEL 095-862-7121 FAX 095-862-5281 <http://www.kensetunagasaki.org/> 発行責任者●北村政和 編集人●井関一幸

組織拡大行動実施中
一二九名の仲間が加入

前期組織拡大の達成に向けて、各支部では拡大行動に取り組んでいます。

前期拡大行動期間は、六月から十一月までの六ヶ月

合への新加入者数は四十三名で、脱退者数は二十二名でした。加入者数から脱退者数を差し引くと二十一名の純増となりました。

特に島原支部と佐世保支部が純増六名、諫早支部

合は年間を通じて組織拡大と未加入者の紹介をお願いしていますが、各支部においても支部大会や支部委員会、分会会議等を通じて未加入者の紹介と加入の呼びかけを行っています。

くも前期の拡大目標を達成し、拡大目標の達成功労金が贈呈されました。

全体では前期の拡大目標達成まであと七十一名です。全支部で拡大の目標を達成し、さらに来年四月に開催

特に十月と十一月は組織拡大の強化月間として、支部役員や青年部の皆さんをはじめ行動への参加をお願い

が七月の拡大月間表彰を受
けました。八月は脱退者の
数が加入者を上回りました
が、それでも三名の減少に

九名の新加入があったことが報告されました。中でも浦上東支部と佐世保東支部佐世保北支部の三支部が早

増をめざして、未加入者の紹介と組合員皆様の行動への参加をよろしく願います。

第二回本部執行委員会
(九月二十九日開催)では
各支部の加入脱退の状況が
報告されました。七月の組
いしています。

留まり、八月末の組合の組織数は六、三〇一名となりました。

組合結成七〇
(来春四月)中

周年記念式典
までに純増を

魅力ある建設産業への再生

2015年
組織拡大
全国統一行動

- 資金・単価の大幅引き上げ
- 人材福利費増投し社保未加入対策
- 入札約法・発注の制約
- 労務の削減、リストラ削減の推進
- 労務費なくし、雇われ職に陥り

仲間のくらし、命と健康を守る

- 建設関係の健全運営
- 建設アスベスト訴訟勝利
- 安全対策強化で労災事故ゼロ
- 助け合いの共済制度

仲間づくり、後継者の育成、地域貢献

- 現地近郊の年節活動や仲間作り
- 全国年技節大会の開催
- 職業訓練
- 住宅支援

さあ、仲間にあいに行こう

建設労働者・職人は組合へ

全建総連
全国建設労働組合総連合

▲組織拡大の全国統一行動ポスター

平成28年度
国保予算獲得
に向けて

ハガキ要請行動にご協力を！

平成二十八年年度国保組合
予算確保に向けたハガキ要
請行動を、十月から約一ヶ
月半をかけて行います。要
請先は厚生労働省・財務省
です。組合員、家族の一人
一人の声を直接訴える絶好

の機会です。建設国保への補助金の現行水準の確保に向けて取り組みをお願い致します。

詳細につきましては後日支部を通じて組織配布を行いますので、その際にはご協力をお願い致します。

国保組合制度を守るために、私たちは建設労働者にな、私たちは建設労働者に建設国保が欠かせない存在だと訴えることが必要です。ハガキ要請行動へのご協力をよろしくお願いします。



瀬尾友謙さん
(佐世保中央支部)

て、驚き、開如、製
図が始まり、静寂

(中尾 政男)

全建総連

第31回全国青年技能競技大会

31県連組合から73名（松本市総合体育館）
長崎から筒井さん・瀬尾さんが出場



全建総連「第三十
一回全国青年技能競
技大会」が九月二十

二日から二十四日にかけて
長野県「松本市総合体育
館」にて三十一県連・組合

げ拳手をして作品提出。時間内に完成に至らなかった選手もいました。

な中にも緊張感が漂います。様々な定規を巧みに使いこなす選手。その後、材料の加工・寸法決め、そして墨付け。それが終わると加工に取り掛かります。柱のくせ取りや穴掘りドリルにしても、色々なやり方が見て取れ、選手の皆さんそれぞれの工夫で頑張っており、参考になる部分が多々ありました。

第七十回定期大会を受け、県下十五支部において八月二十一日の大村支部を皮切りに支部大会が開催され新体制がスタートしました。参加延べ人数は八八五名でした。（支部三役一覧☆は新任）									
各支部大会開催									
中央支部					大浦支部				
開催日	九月二日	開催日	九月九日	開催日	九月二日	開催日	九月九日	開催日	九月二日
参加者	五十四名	参加者	三十八名	参加者	五十四名	参加者	三十八名	参加者	五十四名
支部長	内野 幸雄	支部長	北村 五男	支部長	内野 幸雄	支部長	北村 五男	支部長	内野 幸雄
副支部長	本多 常秋	副支部長	平山 正則	副支部長	本多 常秋	副支部長	平山 正則	副支部長	本多 常秋
書記長	山口 龍志	書記長	鳥田 時治	書記長	山口 龍志	書記長	鳥田 時治	書記長	山口 龍志
〃	樋口 正人	〃	古里 一紀	〃	樋口 正人	〃	古里 一紀	〃	樋口 正人
〃	石橋 廣喜	〃	宮副 辰則	〃	石橋 廣喜	〃	宮副 辰則	〃	石橋 廣喜
〃	馬渡 鉄洋	〃	池田 剛	〃	馬渡 鉄洋	〃	池田 剛	〃	馬渡 鉄洋
書記長	井関 一幸	書記長	森 政一	書記長	井関 一幸	書記長	森 政一	書記長	井関 一幸
浦上東支部					浦上西支部				
開催日	九月一日	開催日	九月四日	開催日	九月一日	開催日	九月四日	開催日	九月一日
参加者	六十一名	参加者	七十名	参加者	六十一名	参加者	七十名	参加者	六十一名
支部長	田崎 順一	支部長	村岡 広明	支部長	田崎 順一	支部長	村岡 広明	支部長	田崎 順一
副支部長	野口 耕平	副支部長	佐藤 昭彦	副支部長	野口 耕平	副支部長	佐藤 昭彦	副支部長	野口 耕平
書記長	松園 俊輔	書記長	平出 壽夫	書記長	松園 俊輔	書記長	平出 壽夫	書記長	松園 俊輔
〃	山崎 信	〃	木下 広次	〃	山崎 信	〃	木下 広次	〃	山崎 信
〃	山崎 司	〃	山崎 信	〃	山崎 司	〃	山崎 信	〃	山崎 司
書記長	松園 俊輔	書記長	佐藤 昭彦	書記長	松園 俊輔	書記長	佐藤 昭彦	書記長	松園 俊輔
大村支部					佐世保東支部				
開催日	八月二十一日	開催日	八月二十一日	開催日	八月二十一日	開催日	八月二十一日	開催日	八月二十一日
参加者	六十八名	参加者	六十八名	参加者	六十八名	参加者	六十八名	参加者	六十八名
支部長	伊藤 一廣	支部長	伊藤 一廣	支部長	伊藤 一廣	支部長	伊藤 一廣	支部長	伊藤 一廣
副支部長	中尾 政男	副支部長	中尾 政男	副支部長	中尾 政男	副支部長	中尾 政男	副支部長	中尾 政男
書記長	川田 洋一	書記長	川田 洋一	書記長	川田 洋一	書記長	川田 洋一	書記長	川田 洋一
〃	緒方 末広	〃	緒方 末広	〃	緒方 末広	〃	緒方 末広	〃	緒方 末広
〃	☆金水 誠	〃	☆金水 誠	〃	☆金水 誠	〃	☆金水 誠	〃	☆金水 誠
〃	☆津上 章司	〃	☆津上 章司	〃	☆津上 章司	〃	☆津上 章司	〃	☆津上 章司
書記長	☆一瀬 純男	書記長	☆一瀬 純男	書記長	☆一瀬 純男	書記長	☆一瀬 純男	書記長	☆一瀬 純男
島原支部					佐世保北支部				
開催日	九月十一日	開催日	八月二十一日	開催日	九月十一日	開催日	八月二十一日	開催日	九月十一日
参加者	三十名	参加者	六十八名	参加者	三十名	参加者	六十八名	参加者	三十名
支部長	木之田 隆	支部長	伊藤 一廣	支部長	木之田 隆	支部長	伊藤 一廣	支部長	木之田 隆
副支部長	山田 哲夫	副支部長	中尾 政男	副支部長	山田 哲夫	副支部長	中尾 政男	副支部長	山田 哲夫
書記長	本田 岩勝	書記長	川田 洋一	書記長	本田 岩勝	書記長	川田 洋一	書記長	本田 岩勝
〃	城 祐輔	〃	緒方 末広	〃	城 祐輔	〃	緒方 末広	〃	城 祐輔
〃	牛島 貴裕	〃	緒方 末広	〃	牛島 貴裕	〃	緒方 末広	〃	牛島 貴裕
担当	牛島 貴裕	担当	川田 洋一	担当	牛島 貴裕	担当	川田 洋一	担当	牛島 貴裕
西彼支部					佐世保中央支部				
開催日	九月七日	開催日	八月二十一日	開催日	九月七日	開催日	八月二十一日	開催日	九月七日
参加者	七十名	参加者	六十八名	参加者	七十名	参加者	六十八名	参加者	七十名
支部長	植田 勝次	支部長	伊藤 一廣	支部長	植田 勝次	支部長	伊藤 一廣	支部長	植田 勝次
副支部長	井手 保	副支部長	中尾 政男	副支部長	井手 保	副支部長	中尾 政男	副支部長	井手 保
書記長	岩崎喜三郎	書記長	川田 洋一	書記長	岩崎喜三郎	書記長	川田 洋一	書記長	岩崎喜三郎
〃	山中 茂	〃	緒方 末広	〃	山中 茂	〃	緒方 末広	〃	山中 茂
〃	森 一公	〃	緒方 末広	〃	森 一公	〃	緒方 末広	〃	森 一公
書記長	森 一公	書記長	川田 洋一	書記長	森 一公	書記長	川田 洋一	書記長	森 一公
東長崎支部					平戸支部				
開催日	九月八日	開催日	九月八日	開催日	九月八日	開催日	九月八日	開催日	九月八日
参加者	四十九名	参加者	四十九名	参加者	四十九名	参加者	四十九名	参加者	四十九名
支部長	里 澄宏	支部長	里 澄宏	支部長	里 澄宏	支部長	里 澄宏	支部長	里 澄宏
副支部長	尾上 正範	副支部長	尾上 正範	副支部長	尾上 正範	副支部長	尾上 正範	副支部長	尾上 正範
書記長	岩永 和範	書記長	岩永 和範	書記長	岩永 和範	書記長	岩永 和範	書記長	岩永 和範
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
書記長	岩永 和範	書記長	岩永 和範	書記長	岩永 和範	書記長	岩永 和範	書記長	岩永 和範
市南支部					北松支部				
開催日	九月十五日	開催日	八月二十一日	開催日	九月十五日	開催日	八月二十一日	開催日	九月十五日
参加者	四十八名	参加者	六十八名	参加者	四十八名	参加者	六十八名	参加者	四十八名
支部長	山本 秀夫	支部長	伊藤 一廣	支部長	山本 秀夫	支部長	伊藤 一廣	支部長	山本 秀夫
副支部長	小宮 清治	副支部長	中尾 政男	副支部長	小宮 清治	副支部長	中尾 政男	副支部長	小宮 清治
書記長	小泉 雄義	書記長	川田 洋一	書記長	小泉 雄義	書記長	川田 洋一	書記長	小泉 雄義
〃	中島 善明	〃	緒方 末広	〃	中島 善明	〃	緒方 末広	〃	中島 善明
〃	☆木田 雅晴	〃	緒方 末広	〃	☆木田 雅晴	〃	緒方 末広	〃	☆木田 雅晴
書記長	古井 宏樹	書記長	川田 洋一	書記長	古井 宏樹	書記長	川田 洋一	書記長	古井 宏樹
〃	〃	〃	緒方 末広	〃	〃	〃	緒方 末広	〃	〃
〃	〃	〃	緒方 末広	〃	〃	〃	緒方 末広	〃	〃
書記長	古井 宏樹	書記長	川田 洋一	書記長	古井 宏樹	書記長	川田 洋一	書記長	古井 宏樹

佐世保東支部									
開催日	八月二十八日			開催日			八月二十六日		
参加者	七十名			参加者			六十五名		
支部長	茅原喜志男			支部長			小林 健治		
副支部長	長島 則行			副支部長			福田 栄治		
〃	田中 秀幸			〃			柚元 美則		
〃	小谷 守			〃			松尾 正明		
〃	迎 稔			〃			松山 新二		
〃	天羽 靖雄			〃			小野 猛範		
書記長	測上 武司			書記長			測上 武司		
佐世保北支部									
開催日	八月三十一日			開催日			九月十六日		
参加者	六十五名			参加者			六十五名		
支部長	須藤 輝久			支部長			近藤 力也		
副支部長	坂中 善男			副支部長			萩原 正清		
〃	池本 勇			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		
〃	西田 光孝			〃			西田 光孝		

大盛況の中、包丁388本



大浦支部・居留地まつり

9/20

九月二十日(日)、例年参加の「長崎居留地祭り」で住宅デーを実施しました。会場のオランダ通りに組合員・主婦会合わせて十九名の皆さんに参加頂き、包丁研ぎ、まな板販売を行いました。

(参加者)	敬称略
北村 五男	平山 正則
宮副 辰則	古里 一紀
田上 義高	小野 義龍
竹市 幸信	梅澤 利久
工藤 是正	佐々木正敏
竹崎 初雄	方山 栄治
土屋 俊	大坊 隆良
横田 博明	松本 末吉
小淵 禮子	山下キミエ
島田 愛子	北村委員長
田上副委員長	

新聞にチラシを入れた成果が、開始時間前から受付を待つ長蛇の列。主婦会の皆さんの手際のよい受付の後、組合員さんは次々とくる包丁を丁寧に仕上げていました。中には、「来年もくるんでお願いします!」と早くも予約の声も。今年も大盛況で、包丁研ぎ三八八本。まな板の販売が五枚でした。連休の忙しい中、参加ご協力頂きました皆様お疲れ様でした。(池田)

浦上東支部

9/13



辻町地区で 包丁93本・まな板16枚

(参加者)	敬称略
田中 秀則	田崎 順一
森 政一	田川 和博
松田 隆人	増田 啓治
川口 繁弘	大原 和夫
生田 繁一	杉山 達美
下峰 英巳	村瀬 春樹
渡部 政徳	材木 賢一
金子 嘉徳	吉田 光夫
濱崎 豊己	野口 耕平
坂田 秀司	田村 敏明
中尾 亮	松添 秀臣
野田 耕次	北山 薫
川内 正夫	田島 浩文
森 節子	杉山 廣子
渡辺 久子	佐藤 光子

浦上東支部では、九月十三日(日)住宅デーを開催しました。これまでは、女の都地区と山里地区を各年毎に開催していましたが、今年 は地元自治会の強い要望で約十年ぶりに辻町地区での開催となりました。

浦上東支部では、九月十三日(日)住宅デーを開催しました。当日は、開始前に青年部で清掃活動を行い、蒸し暑い中、心地よい汗を流しました。参加者は、全体三十二名でした。スムーズな主婦会の受付や丁寧な仕事ぶりに、皆さん感謝していました。また、野口市議、北村委員長、石田書記長も参加。休むことなく苦勞を頂いた組合員・青年部・主婦会の皆さん、大変お疲れ様でした。(西平)

(参加者)	敬称略
植田 勝次	尾崎 光生
岡田 一廣	松林 満男
迫 貴幸	脇川 雅隆
古藤 明義	中村 秀徳
岩永 亀雄	小串 民雄
白浜 和男	松林 敏
松林嘉代子	岡崎アイ子
尾崎 秀子	岩永 和子
	山口 洋子

(参加者)	敬称略
植田 勝次	井手 保
浦馬場幾男	川久保博幸
松本 文男	嶋本 清孝
高木栄八郎	川林 満
川林 恵	森 満
堀口 留喜	堀田 正昭
植田ヤスエ	溝上 啓子
	波戸口利未

参加しましたが、分会の開催なのに、沢山の組合員さんに参加頂き、ビックリしました。また、主婦会の皆さんにも協力して頂き、御礼申しあげます。(森)



九時に集合し準備を行い、準備ができると、ボツボツとお父さん・お母さんが包丁・まな板を「お願いします」と言って持つて来られます。名前を聞いて受取札を渡していきます。中にはスノコを作つて下さいと注文をされる方もいます。組合員さんも

(参加者)	敬称略
山崎 増雄	内野 幸雄
樋口 正人	石橋 廣喜
田森 勝	太田 俊一
馬場 秀行	馬場ヒロ子
樋口須磨子	北村委員長
石田書記長	

包丁を研ぐ人、まな板を削る人、スノコを作る人と分かれました。出来上がると受け取る方は嬉しそうに「良かった良かった」と言っていました。手伝いをしている私たちも大変感謝されて、とても気持ちが良かったです。終わってみると、包丁十九本、まな板七枚でした。お昼になりお客さんもなく、後片付けし支部長さんの「ご苦労さん」の挨拶とお弁当を頂き解散しました。皆さん本当にお疲れ様でした。(馬場ヒロ子)

中央支部・西山分会

9/6

良かった・良かったと感謝

残暑厳しい中、九月六日 主婦会一名、書記局二名の(日)中央支部は西山二丁目公民館で、組合員さん七名、を開催しました。

包丁を研ぐ人、まな板を削る人、スノコを作る人と分かれました。出来上がると受け取る方は嬉しそうに「良かった良かった」と言っていました。手伝いをしている私たちも大変感謝されて、とても気持ちが良かったです。終わってみると、包丁十九本、まな板七枚でした。お昼になりお客さんもなく、後片付けし支部長さんの「ご苦労さん」の挨拶とお弁当を頂き解散しました。皆さん本当にお疲れ様でした。(馬場ヒロ子)

市南支部住宅デー

9/20

心待ちされた住宅デー



市南支部は、九月二十日(日)に住宅デーを実施し、組合員十五名・主婦会二名・専従役員及び書記局五名の

昨年住宅デーの受付シールが貼られたままの状態、今回包丁を持って来られた人がいたため、誤っ

計二十二名に協力頂きました。ジョイフルサン江川店での開催は、六回目となり、お店では一カ月前から店内広告などをしていました。あり、全部で二五六本の包丁を研ぎ上げました。

(参加者)	敬称略
山本 秀夫	小泉 雄義
中島 善明	山下 俊之
江崎 覚	松浦 良二
中島 直人	今井 久光
栗浦 勝	森尾 利助
田中 義行	山下 洋二
山口 秀敏	荒木 貞則
今井 佳信	山下八千代
坂本 藤子	北村委員長
松津副委員長	田上副委員長

秋の住宅デー



▲長与連合分会の様子



▲時津連合分会の様子

西彼支部 時津・長与連合分会

9/13

多くの参加で、スムーズな包丁研ぎに

西彼支部・時津連合分会では、九月十三日(日)にウオーターフロント公園で住宅デーを開催しました。以前は、時津町夏祭りに協賛し開催されていたのですが、別日程で開催することとなり今年で二年目。全体で一二三本の包丁などを研ぎ上げました。

また、長与連合分会でも、同日、農協果場で住宅デーを開催しました。こちらは、毎年九月の第二日曜日に開催すると決められており、「今日を待っていました」との声が多く聞かれました。全体で二百九本の包丁等を研ぎ上げました。両分会に北村委員長も顔出しされました。私は、初めて西彼支部の住宅デーに参加しましたが、分会の開催なのに、沢山の組合員さんに参加頂き、ビックリしました。また、主婦会の皆さんにも協力して頂き、御礼申しあげます。(森)



西彼支部・時津連合分会では、九月十三日(日)にウオーターフロント公園で住宅デーを開催しました。以前は、時津町夏祭りに協賛し開催されていたのですが、別日程で開催することとなり今年で二年目。全体で一二三本の包丁などを研ぎ上げました。



△松陰神社前にて記念撮影

世界遺産と重要文化財 有意義な旅となりました

今年も汗ばむ陽気に恵まれた九月二十七日(日)、諫早支部では四十一名の参加で山口県萩市方面へ支部旅行を開催しました。先ずは殆どの方が修学旅行以来となる秋芳洞へ。昔の記憶をたどりつつ約四十分の道のりに皆さんかなりお疲れの様子に到着。温泉でひとまず身体を休めてから夜は恒例の大宴会。いつも通り飲んで歌ってご機嫌なひと時を過ごしました。

二日目、朝から昨日蓄えた栄養を消化するため萩の城下町を散策。国の重要文化財である菊屋家住宅では萩藩の御用屋敷として使用されていた面影がそのまま残る屋敷や伊藤博文がわざわざアメリカから買ってきた今も現役で動いている柱時計、他にも見るからに高価そうな掛け軸などを見学。その後、唐戸市場で昼食をとり、忘れてはならない家族へのお土産を両手にどっさり抱えて無事に帰省。今年も長旅で疲れましたが有意義な旅行となりました。

（中村太司）



中央支部主婦会 まんじゅうづくり いつもの事ながら、 おいしいおまんじゅうができました

九月九日(水)中央支部主婦会は七名の参加でまんじゅう作りを行いました。暑さも少し落ち着いたようで天気にも恵まれました。朝九時に集合しました。皆さん仕事くできました。皆さん仕事くできました。

九月九日(水)中央支部主婦会は七名の参加でまんじゅう作りを行いました。暑さも少し落ち着いたようで天気にも恵まれました。朝九時に集合しました。皆さん仕事くできました。皆さん仕事くできました。

十月四日(日)に、迎パールマリンで釣り大会を二十五名の参加で開催しました。一年おきに釣り大会を開催していますが、前回あまり釣れなかったこともあり、リベンジに胸を弾ませ、船とイカダに分かれて乗船しました。

イカダの方は、サバの入れ食いで、クーラーが溢れるほど釣った方もあり、時にはサメやタイなどの大型の魚もかかり、釣りの醍醐味を味わっていました。

船のほうは、電動リールや手釣りと様々な仕掛けで、大物狙いの「タモ」持参と



佐世保東支部 旅行会

～来年も行けるよう組織拡大にガンバろう～



＜巖流島の決闘像前にて

九月二十七日(日)、二十八日(月)に、萩を中心に総勢三千六名の参加で、旅行を行いました。佐世保東支部の企画としては、久しぶりの晴天で、さつそくバスの中で乾杯の声が上がりました。楽しい一日目が始まりしました。

まず、下関で海峡ゆめタワーを見学し、高いところが見学してました。帰りのバスの中では、抽選会を行い、クーラーボックスの中の飲み物はきれいに腹の中に片づけていた

（測上）

佐世保中央支部 釣り大会

サメやタイもびっくり



準備万端。しかし大物の影はなく、それでもイサキ・タイ・アジなどが釣れていました。

お昼になると船の方もイカダに移り、海上バーベキューで昼食です。お互いのクーラーの中身を見比べながら、それぞれの釣果を語り合い楽しい食事となりました。

（測上）